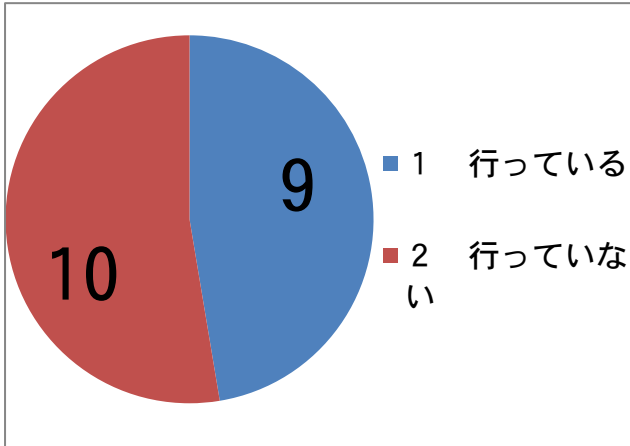


訪問型支援及び保護者への情報提供に関する実態調査結果まとめ

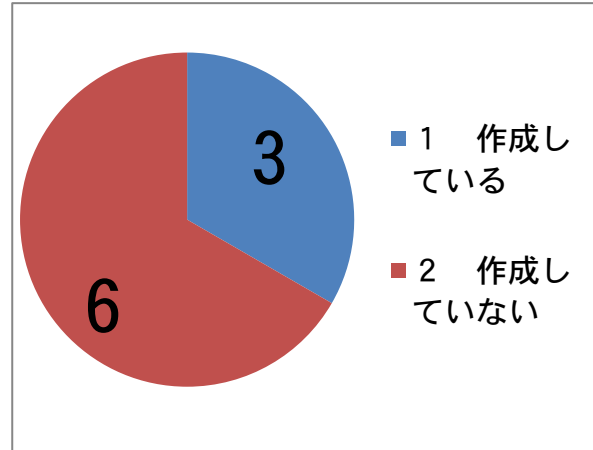
生徒指導推進室

平成28年2月26日(金)

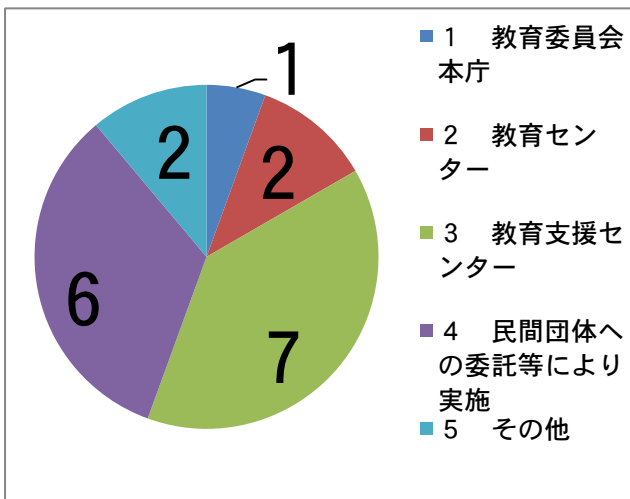
1、訪問指導を行っているか



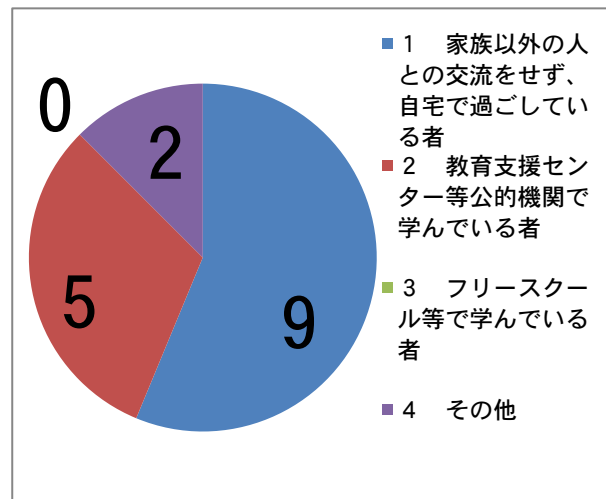
4、支援計画を作成しているか



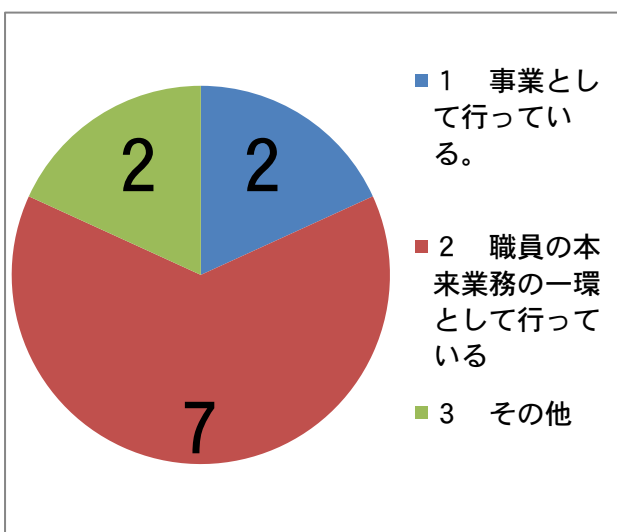
2、どこが主体か



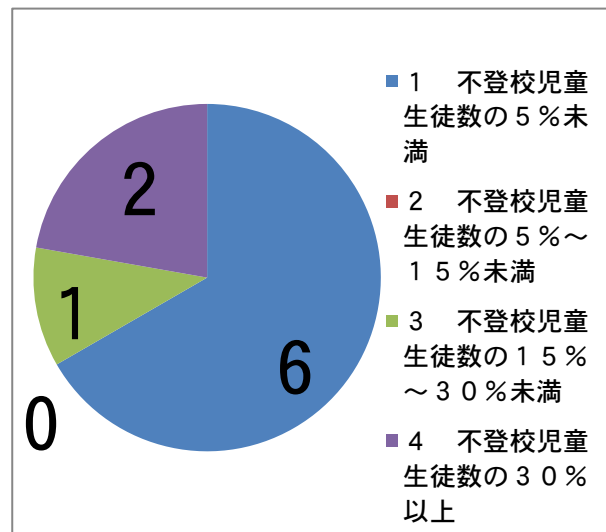
5、どのような児童生徒が対象か



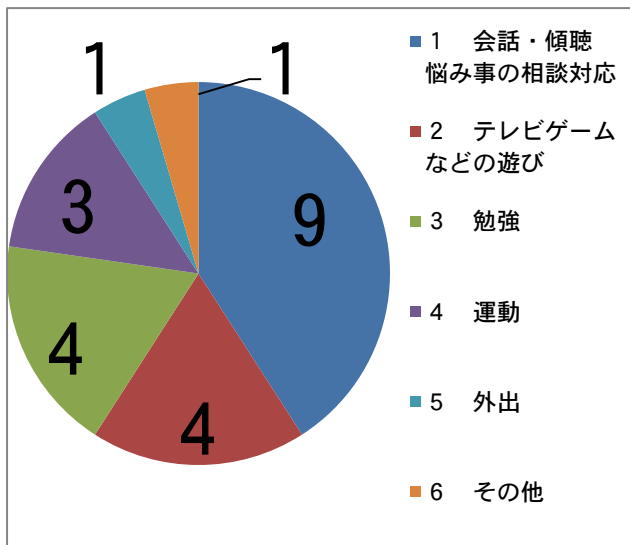
3、どのような形態か



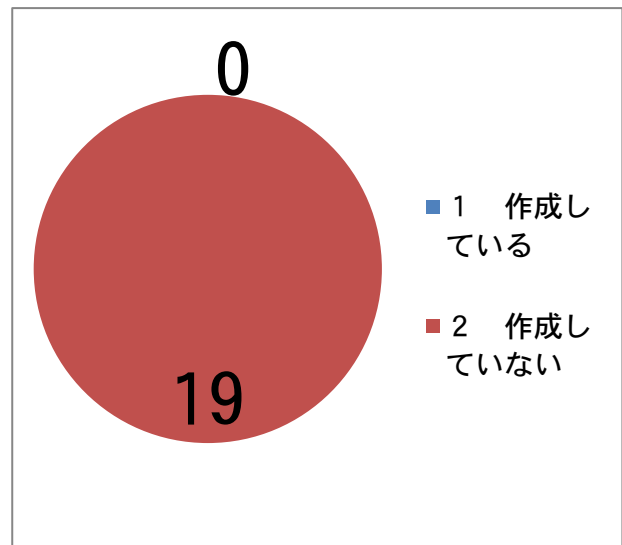
6、平成26年度の訪問型支援数は



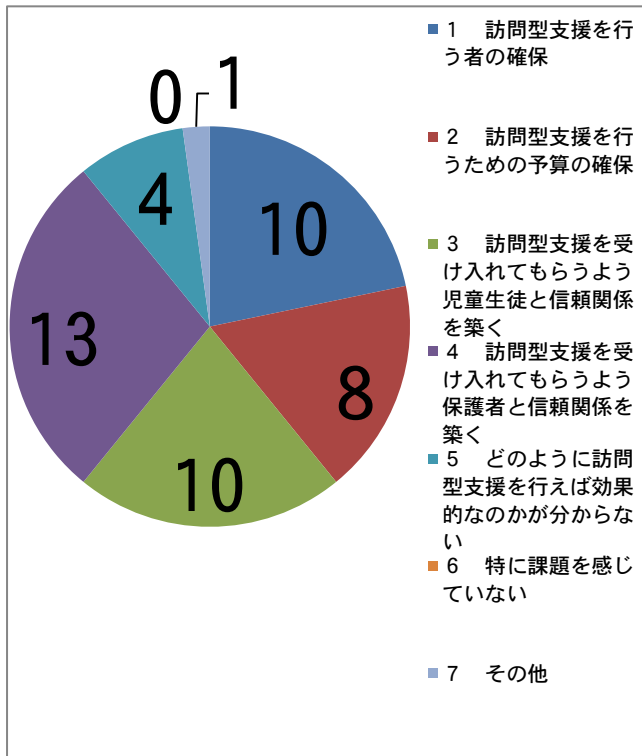
7、訪問型支援の内容は



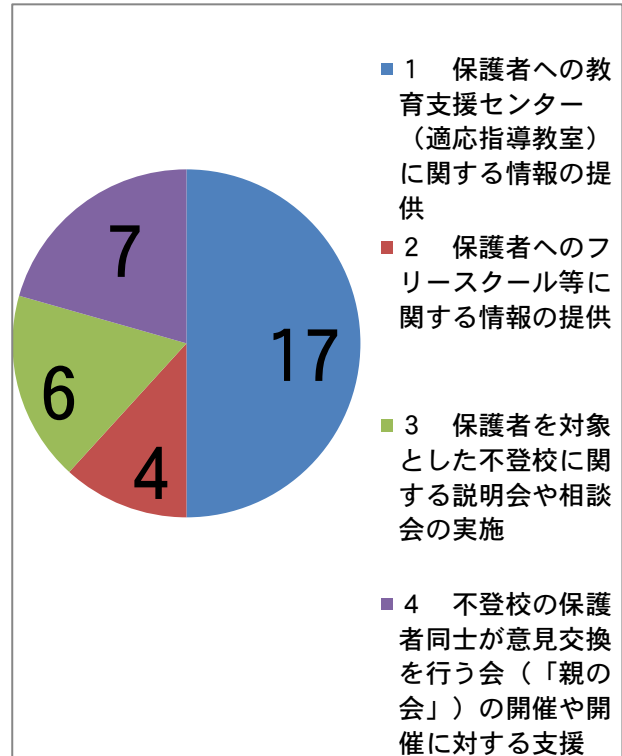
9、訪問型支援のガイドラインの作成



8、訪問型支援を行う際の課題は



10、保護者への情報提供について



(まとめ)

- 教育支援センターの訪問型支援については、半数が既に実施しているものの、その支援している児童生徒数はかなり少数であり、その支援内容等のガイドラインは作成されておらず、担当者や支援を受ける児童生徒の意向に沿う形で実施されている。
- 訪問型支援を行う際の課題としては、人材や予算の確保、児童生徒や保護者との信頼関係の構築など多くの課題が残されている。今後は、教育支援センター等に配置されるスクールソーシャルワーカーを活用していくことが求められている。
- 今後は、完全に家庭にひきこもっている不登校児童生徒への訪問型支援がますます求められることが予想され、人材の確保やアウトリーチ型支援のガイドラインの作成等が必要である。